

2009年度「はんさん」読者アンケート集計結果

日時：2010年3月1日

報告：(特活) 秋田県南NPOセンター

次年度、市民活動団体にとってより分かりやすく、役に立つ情報誌を作ることを目的に、『はんさん』の編集に活かしていくためのアンケートを実施しました。アンケート結果は編集会議で検討し、可能な限り取り入れていきたいと考えています。

対象は、情報誌を定期的に郵送している方を中心とする読者。2010年2月15日に配布し、3月上旬をもって締め切ったものを集計しました。

- 配布枚数：約 350 枚
- 回収枚数：35 枚
- 回収率：10%

<回答者内訳>

◇性別 男性：21人 女性：13人 不明：1人

◇年齢 10代：0人 20代：6人 30代：6人 40代：7人

50代：6人 60代：8人 70代以上：0人 不明：2人

◇所属 ボランティア・NPO：21人 県職員：4人 市町村職員：6人 企業：1人

その他：3人（高等学校、雇用創出協議会、当法人理事1人）

※情報誌「はんさん」は当法人が秋田県から委託を受け、編集しているため、県職員及び当法人理事の回答は以下では割愛するものとします。

(但し、編集部としてはどれも基調なご意見として、検討させていただきます。)

Q1. 今年度の内容について、参考になった・興味深く読んだ記事はどれですか？

(複数回答可)

	トピック	活動W	クローズ	助成金	イベント	募集	新世代	外部	県民協働	その他
NPO	10	12	2	7	6	1	10	8	8	1
自治体	5	2	1	0	2	0	2	2	2	1
企業	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	1	2	0	1	1	0	0
合計	17	16	4	9	11	1	13	11	10	2

Q1-1. (トピックとお答えになった方)

トピックの中で、特に参考になった・興味深く読んだ記事はどれですか？(複数回答可)

	5月号	6月号	7月号	8月号	9月号	10月号	11月号	12月号
NPO	2	2	2	3	4	4	2	9
自治体	0	4	4	1	3	2	0	2
企業	0	0	0	1	0	1	0	0
その他	1	1	0	0	1	0	1	0
合計	3	7	6	5	8	7	3	11

※各月の内容

- ・5月号…そうだ！サポセンに行こう！
- ・6月号…一般市民編
- ・7月号…行政マン編
- ・8月号…湯沢市長編
- ・9月号…NPOの主張
- ・10月号…佐竹知事編
- ・11月号…情報公開を考える
- ・12月号…報告書の作り方

Q1-2. (全員)

具体的に、どういう点が参考になりましたか？

【NPO】

>紙面全体への意見

- ・身近な情報なので興味深い。
 - ・いろいろなところで若い人が活躍しているんだなあと思いながら拝見しています。1つ1つ記事が詳しく書かれているので、初めての人が見ても分かりやすく、とても参考になります。
 - ・多様な感じ、考え方、意見が在りますので良いです。(偏りが少ない)
 - ・様々な人物、団体がクローズアップされていて励まされます。全体的に情報満載でファイルして活用しています。若者の登場も多く良いです。
 - ・地域の動き、人を知る事ができました。
 - ・制度や人、団体、活動の紹介をしてくださっているので貴重な情報源になっています。
 - ・活動ウォッチング、助成金情報、イベント情報、NPO新世代は特に参考になりました。
- 助成金と同じ考え方ですが、スギッチファンドはその1つですね。
- ・各NPO法人で色んな活動をしている事が参考になりました。

>トピック

- ・多方面から考える情報を提供してもらえた。
- ・トピックは学習の場になっています。勉強になります。

>活動ウォッチング

- ・身近なところで活動している様々な方々、団体があることが分かる。

>NPO新世代

- ・表紙の写真と合わせて「こういう人がいるんだなあ」と読ませていただいています。
- ・若い人の意気込みを感じました。
- ・実際のNPO活動をしている方の声にも関心があります。

>外部アンテナ

- ・外から見た秋田というものが興味深かったです。
- ・私自身県外に住んでいるので、他の県外の方々がどういった目線で秋田を見つめておられるのか関心を持っています。
- ・外部アンテナをいつも興味深く読ませてもらっています。普段何気なく過ごしているものに、県外からの視点というスポットライトがあたると、いろいろ考えさせられることが多く参考になります。

>県民協働のページ

- ・助成金を出す側の目的を示した点が、行政ではなくNPOだからできたこと。これは素晴らしい！

【市町村職員】

>紙面全体への意見

- ・知識が深まるだけでなく幅も広げることができた。報告書や計画書の作り方などもフロー図やイメージが効果的に使われていて理解しやすい。
- ・市民活動団体の活動内容を知ることができた。

>外部アンテナ

- ・この観点こそが県南ひいては秋田を見つめ直すのに必要だと思います。
- ・色々な形で係る秋田の再発見や再認識が自信と重ねて考えられた様な気がした。

>県民協働のページ

- ・とてもよく掘り下げてあって読んでいておもしろい。

【企業】

>助成金情報

- ・たいへん参考になった。

Q2. 改善したほうがよいと思われるコーナーはどれですか？（複数回答可）

	トピック	活動W	クローズ	助成金	イベント	募集	新世代	外部	県民協働	その他
NPO	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1
自治体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1

Q2-1.

具体的に、どういう点が物足りなかったですか？

【NPO】

>紙面全体への意見

・県南でがんばっているNPO、ボランティア団体の活動の紹介がもっとあればよかったです。

>イベント情報

- ・県都秋田市で開催するイベントも掲載した方がいいのではないかな。
- ・何かありませんか？と小さな団体に声かけしてもらえたら嬉しいです。

>県民協働のページ

・仕方ないでしょうが「ミッション」とか横文字は本当は地域には合わないと感じています。協働とは？を考えていく角度ほしいかなと。

【市町村職員】

>NPO新世代

・つながりを求める人のために「NPO新世代」でとりあげられた人物の連絡先等があれば良いと思います。本人意向もあると思いますが。

Q3. 今後、特に取り上げてほしいテーマや情報、団体があればご記入ください。

【NPO】

- ・各団体の目的別にした表を見てみたい。そこから時代と地域の問題を知りたい。
- ・個人的には、秋田県南以外の団体さんについても知りたいので、機会があれば取り上げてほしいです。
- ・人材育成。数年後を考えていく意味で何かできないかなと。人そのものが育っていないのではないかと感じてしまいます。
- ・先日のCSRセミナー「メディアとの交流」は良い企画でした（少し盛りだくさんでしたが）。情報発信という意味でも重要なテーマです。紙面でも切り口を変えて取り上げてはどうか。新しい仕事づくり、新しい生活スタイルの確立などもテーマとしておもしろいと思う。
- ・NPO法人会計 知れば便利ワンポイント！こんな時はこのような仕訳をしますみたいなコーナー

- ・横手は元気があるので、横手（県南）ならではの活動を取りあげてください。
- ・秋田の課題（自殺・低い癌検診受診率・若者の県外流出 etc）に取り組んでいるNPOの紹介と、そうした課題解決に向けた取り組み方の紹介。
- ・ボランティアのきっかけをつかめないでいる人達のために「求む、猫の手！」とでも称しているいろいろな施設・団体からのヘルプ要望を紹介するコーナー
- ・ゼロダテ（大館市でアートイベントをやっている団体。まもなく東京事務所ができる予定。）
- ・秋田魂心会（東京で音楽イベントなどをやっています。音楽イベントで400人を集客するなど、実績と情熱のある団体です。）
- ・活動ウォッチング、助成金・スギッチファンド（今後変わっていきますね。）
- ・横堀地域づくり協議会
- ・地域教育力の向上、学校教育と社会教育の連携

【市町村職員】

- ・読者の声（感想や質問等）があるようであれば、少し載せてみるのもいいと思います。
- ・歳を活かしたまちづくりに取り組む団体。①横手市増田地区まちなみ保存活用推進協議会 ②仙北市角館町「角館まちづくり研究所」
- ・若者で、市民活動に取り組む方々をクローズアップした点が、若い感性だなあと感心しました。いろいろと御苦労もあった事かと推察いたします。私は中年なので、がんばる中年も見てみたいです。働き盛りなのだけれど本業そっちのけで夢中になっている中年も3回に1回くらいは取り上げてもらえるとうれしいです。

【企業】

- ・企業とNPOとの取組、環境について等

【その他】

- ・農商工観連携

Q4. 全体を通して、ご意見・ご感想・ご要望・メッセージなどを自由にご記入ください。

【NPO】

- ・独自の編集方針がありおもしろい。今後もこの路線でがんばってください。
- ・絵や写真など使って分かりやすく見やすくなっているので楽しく拝見させていただいています。
- ・今回は、わざわざ取り上げてくださってありがとうございました。またいろいろとお世話になると思いますので、よろしく願います。記事に関しては、上から目線と取られかねない文章は避けてほしいと思いました。
- ・最初のページに例えば「計画書の作り方」はどうかと。NPOはまずやる気が出て、それから細かい事を掻き立てるのではないかと。地域のみなさんの中には、書類になじんでいない人も多い。

・NPOセンターの人材はどこで集めたのですか。相手の気持ちになって仕事に取り組む姿勢に感心しきりです。私の出来ることがあればいつでも協力させていただきます。もう1つ運営的論の中での留意点として主語を持って語るということです。つまり自己責任を明確にするということです。そんな日常的な思考が秋田では今1番問われているのではないのでしょうか。

・1つのテーマ（例えばNPOについてなど）をいろいろな角度から掘り下げて、深く広く取材し、読む側に情報を提供してくださっているのも理解が深まりました。毎号本当に盛りだくさんの内容で、取材、編集等々ご苦労なされていることとと思っています。ありがとうございます。ささいなことですがファイルするとき前は右とじでしたが、左とじに変わりました。できればこれからは左とじで続けていただければ…。(実はきらめきと同じだったら1番良かったのですが。)

・助成金について書かれていることがよくあったかなと思いました。その方面のことを知りたい方としてはとてもよく分かりやすい内容だったと思います。来年もよろしくお願ひします。編集後記はほのぼのしているので1番はじめによみます。

・自分の生活基盤が成立してのNPO活動故、少子高齢化と厳しい経済情勢では、若者に期待するのは酷かと思うこの頃です。

・できれば「はんさん」の部数をもう少し多くしてください。

・秋田大学で市民活動にかかわっている教授から「秋田のNPOリーダーの意識レベルが低いのでは？」とコメントされた。多分ロールモデル的なNPOリーダーにふれる機会が少ないため、周辺をみまわしてこれで良いと安住してしまう地域性も大いにあるのではと思われる。いきなり仙台、東京までいかななくても、ユニークで先進的な活動を展開している他県、他地域のリーダーの紹介があっても良い。

・毎月発行は動かせない条件なのではないでしょうか？隔月でも十分に機能する情報手段だと思います。

・WEBで情報を見られるようになると嬉しいです。県外の方々を引き込むために、ウェブマガジンを発行したり、HPをより使いやすくしてはいかがでしょうか？Yokotterで秋田が注目されていることもあり、WEBに注力すればより広がるのではないかと思います。「若者会議」の情報も、専用のHPがあればもっと活発に情報交換できるのではないのでしょうか？

・いつも大変勉強になっています。今後も楽しみにしていますので、がんばってください！

・たっぷり情報がつまみで、毎号楽しみにしています。

・バランスのよい内容で大変よろしいと思います。伺ったときの職員のみなさんの雰囲気も感じられる有意義であたたかい、刺激のある、希望を持てる内容で良い情報誌だと思っています。

・2010年2月号の編集後記中、「今年も残り11ヶ月」とあるのは、「11ヶ月もある」ので誤使用と思われる。本紙（アンケート）の上部にある「残すところあと1回」の方が正し

いと思う。

- ・下段の※の解説（2月号）がよかった。雑学的なものでも良い。
- ・Vol.48 の外部アンテナ中「一人一人」とあるのは「一人ひとり」が正しい。他紙を参考にしているかが。
- ・Vol.49 「ビジョン」「ミッション」の解説を※でコメントしたら面白い。最近週刊誌などで使われている。
- ・素晴らしい取材です。文章の表現も優しく読み易いです。レイアウトもキチンとしています。
- ・※は統一した場所にしてはいかがでしょうか。誤字脱字防止のため校正時に相互点検してはどうか。
- ・ホームページにPDFがのっているのですが、前の記事をまた読みたい時にとっても助かっています。これからもよろしくお願いします。
- ・当NPO法人の取材に来ていただきありがとうございました。もっと幅広く、視野を広げて活動をしていきたいと思っていますので、また遊びにいらしてください。
- ・お疲れさまです！毎度の情報提供、感謝！

【市町村職員】

- ・全体的に読みやすく、すごく身近に感じることができる情報誌だと思います。「ズバリ！まわりはNPOをどう見てる？」シリーズではそれぞれの立場での視点や率直な意見が掲載されており、「NPO」はもちろん「協働」などについて深く考えるきっかけとなりました。対話形式を用いた文章やイメージ図などの使い方など勉強させていただいています。来年度も親しみやすい情報誌、楽しみにしています。
- ・ホームページの「はんさん Vol.45」内容に44がリンクしていますよ。様々な分野で活動している団体を今後とも紹介して、市民協働の考え方を浸透させてください。
- ・毎号楽しく拝見しております。当館でも活動されているボランティアの方々がいらっしゃいますが、他のボランティアさん・NPOの方々の活動を知ることができる『はんさん』は大変参考になります。

【企業】

- ・県南地区においても様々な活動をしている人がいることを知り、大変参考になった。

【その他】

- ・たまに（年に1回位）カラーでどうでしょうか？